

# 諸外国における研修・人材育成の状況

## アメリカ 国立公文書記録管理院 National Archives and Records Administration (NARA)

- ◆ 連邦記録管理者向け研修 (National Records Management Training Program)
  - 開催場所: 全国の国立公文書記録管理院 (NARA) の施設を巡回。  
同一科目について年複数回実施。
  - 費用: 1日あたり150ドル
  - 申込: 国立公文書記録管理院 (NARA) ウェブサイトからオンラインで申込可能



### ＜修了証取得プログラムと個別研修＞

研修科目	期間	研修内容
連邦記録管理者向け修了証取得プログラム	9日間＋試験 (5科目)	業務情報の作成と管理(2日)／レコードスケジュールの設定(2日間)／レコードスケジュールの実施(2日)／資産・リスク管理(2日)／記録管理プログラムの開発(1日)

※上記5科目をすべて受講し(複数年かけての受講可)、試験(オンライン受験)に合格すると修了証が発行される。  
 ※行政管理予算局(OMB)局長代行と国立公文書記録管理院(NARA)長官による、各省庁及び独立機関の長宛覚書(2012.8.24)では、「各機関の記録管理担当者は2014年12月31日までにこの研修の修了証を取得しなければならない。」とされている。

研修科目	期間	研修内容
個別研修	各科目につき 1～2日	記録管理概論(1日)、電子記録管理(2日)、国家機密情報のライフサイクル管理(1日)、重要記録情報(1日) 等

## イギリス 国立公文書館 The National Archives (TNA)

◆ イギリス国立公文書館(TNA)に文書を移管する移管元機関の職員を対象に研修を実施。

研修科目	研修内容
評価選別(上級)	紙、デジタル記録の評価選別
選別と移管プロセス(基礎)	公記録の管理プロセスと背景を概説
目録作成とその準備(上級)	イギリス国立公文書館(TNA)のオンライン目録や目録作成基準を概説
デジタル継続性研修	デジタル記録の長期的な管理方針の策定

※いずれも1日のコース、費用は無料。また、イギリス国立公文書館(TNA)を会場として実施。



## フランス 国立公文書館 Archives nationales

- ◆ アーカイブズに関しては、フランス文化通信省の主催により、国立公文書館パリ館を始め各館を会場として、アーカイブズ専門職や情報官、行政官など幅広い対象者に対して、多彩な研修を実施。

### <2014年研修の例>

研修科目	受講場所	期間	研修内容
アーカイブズ入門	パリ館	5日間コース	アーカイブズの定義、資料群尊重の原則、分類・目録基準、アーカイブズの保存・提供、国立公文書館視察
行政文書の電子化 (電子行政)	パリ館	3日間コース	電子化に係る概念、中央行政機関と地方自治体の電子化計画の展望
レコードマネジメント	パリ館	3日間コース	どのように始めるか、計画環境、プロセスと活動の分析、実施計画・評価・継続的な改善
公文書館における 写真の保存入門	ピエール フィット館	2日間コース	公文書館所蔵の写真、現在の写真現像、破損の要因、保存室・閲覧室の管理、予防的保存と空調、修復
修復技術の入門と ブラッシュアップ	パリ館	10日間コース	大小の紙・透写紙の修復、羊皮紙の修復、装丁本・台帳の修復、装丁の取替と保存の実施、文書に合わせた空調の実施